

**製品名: SENP1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17724**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	73kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SENP1
別名	SENP1; Sentrin-specific protease 1; Sentrin/SUMO-specific protease SENP1
遺伝子 ID	29843.0
SwissProt ID	Q9P0U3
免疫原	抗血清はヒト SENP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

**背景**

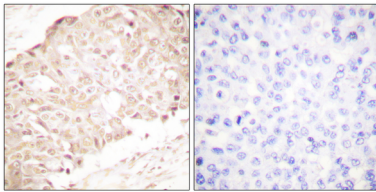
この遺伝子は、小型ユビキチン様修飾因子 (SUMO) タンパク質ファミリーのメンバーを特異的に標的とするシステインプロテアーゼをコードします。このプロテアーゼは、SUMO 化されたタンパク質を脱共役化することで SUMO 経路を制御します。また、前駆体

SUMO タンパク質を成熟型へと処理する機能も持ちます。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。  
[RefSeq 提供、2012年6月]機能: SUMO 経路における2つの重要な機能、すなわち全長 SUMO1、SUMO2、SUMO3 を成熟型へと処理すること、および標的タンパク質から SUMO1、SUMO2、SUMO3 を脱共役化することを触媒するプロテアーゼです。HIPK2 から SUMO1 を脱共役化します。HDAC1 から SUMO1 を脱共役させ、その転写抑制活性を低下させる。類似性: ペプチダーゼ C48 ファミリーに属する。細胞内局在: 細胞質と核の間を往復する。組織特異性: 精巣で高発現。胸腺、膵臓、脾臓、肝臓、卵巣、小腸でも低発現。

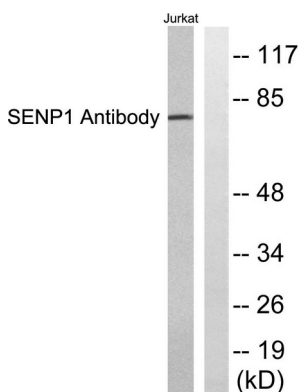
## 研究分野

細胞生物学; タンパク質分解/ユビキチン; プロテアソーム/ユビキチン; 相撲; エピジェネティクスと核シグナル伝達; ユビキチンおよびユビキチン様修飾子; ユビキチン様修飾子

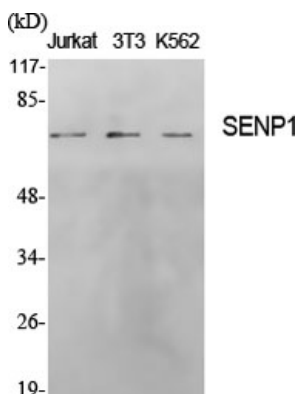
## 画像データ



SENP1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



SENP1 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



SENP1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析